

※音声記事は除外しております。

■新たな観点から情報を得るメンタルツール

●9月4日【夢と反証可能性】

⇒反証(スライトオブマウス)…スライトオブマウスの言語パターンの一つ。フォーカスしている肯定形(「～である」)のある考え・物事について、丁度その裏返しとなるような意味合いの、否定形(「～でない」)の証明が可能かどうかを尋ねることで、思い込みを崩す言語テクニック。
└例)「逆に、～で無いことは証明できますか？」

■自分らしく、自信を付けていく為のコンテンツ

●9月9日【家族的類似による家族神話】

⇒家族的類似…哲学者・ヴァイトゲンシュタインが提唱。ある集合体において、全てに共通の普遍的な事項は無いが、どこかしら相互に似通ったペアが多数存在している為に、一見すると全てが似たようなものに見えること。アイデア論批判に繋がる概念。

・アイデア…哲学者・プラトンが提唱。物理法則と同様に、美・善等、道徳においても普遍的に存在するとされる概念・法則。

●9月19日【功利主義は善か悪か?】

⇒功利主義…快樂に結び付く行為を善、苦痛に結び付く行為を悪とする哲学的立場・考え方。

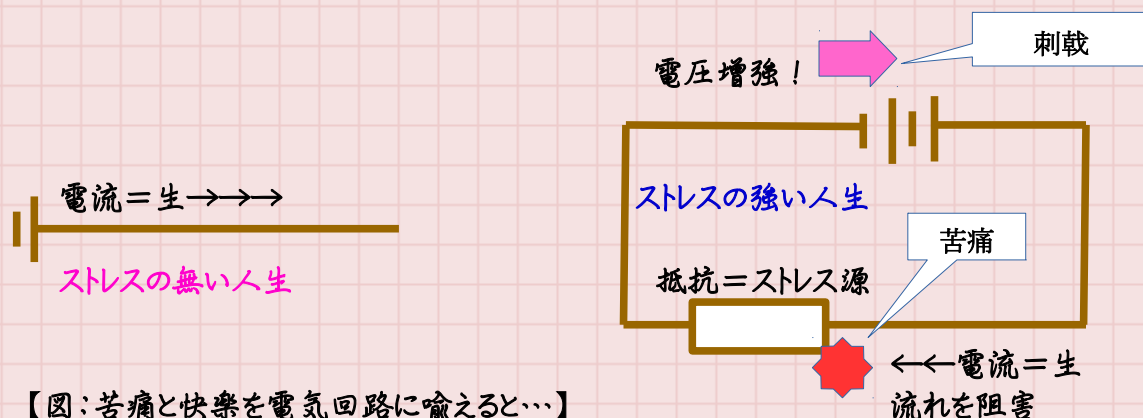
・功利主義と好きなこと…基本的に生命は、痛みを避けて快を求める性質を持っている為、その意味で功利主義は自然法則に沿った、理に適った哲学的立場だと言える。

但し、当方では「快」のニュアンスについては注意が必要だと考えており、厳密には、単なる刺激と真の快樂は、同じ快樂として括られがちであるが、自ずと性質が異なるものと認識している。

生き方を、電気回路における電流に喩えるなら、何の抵抗も無くスムーズに電気が流れているような状態が「真の快」であり、大きな抵抗がある為に、電流が著しく阻害されている状態が「苦」・「痛み」である。

そして、その「苦」・「痛み」の元となる抵抗を除かずに、強引に電流を流す為に電圧を上げる為のものが、「刺激」である。刺激は感じ方が強い為に、快樂として認識しやすいものではあるが、そもそも自然な生を妨げる抵抗となるものを取り除いていない為に、それは同じ快でも、「偽の快」と言えるものである。

真の快は長続きするものであるのに対し、偽の快は刹那的で、際限が無く不毛である。その為、もし真の快を求めるのであれば、勇気を出して、嫌なことは辞めて好きなことを追求して行くと言うことが、最良の道である。



【図：苦痛と快樂を電気回路に喩えると…】